



實性

令和四年 第二号 春彼岸発行

春のお彼岸のご案内

お彼岸の由来

「厚さ寒さも彼岸まで」とも申します。

まだまだ注意が必要な新型コロナウイルス禍（オミクロン株）ですが、壇信徒各位にはご清祥のことと存じ上げます。

春のお彼岸は、春分の日（お中日）を中心とした一週間のさしませんが「お彼岸」とは、「彼岸」すなわち極楽浄土を意味します。その相対する「此の岸」は、私共の世界のことです。

「彼岸」のお浄土は西方にあつて「おひさま」が真西を正しく示す「春分の日」がこれにあたります。

「観無量寿経」というお経には、「日想観」といって、夕陽の先のお浄土を思い浮かべる仏道修行の一つが説かれています。この修行の最も適した日すなわち「春分の日」（お中日）に自分自身を見つめ直し、ご両親、ご先祖様に感謝の真心をささげる一週間にしたいものです。

彼岸会法要

● 三月二十一日（月・祝日）お中日

午前十一時より

● 法要は午前十一時に開始致しますので、少々早めにお出掛け下さい。

開始前に法話をさせていただきます、献花後、各々お塔婆をお持ちになられ、お墓参りをさせていただく形になります。

〈中途退場〉

オミクロン禍においてのこと、何卒皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

● お彼岸入り 三月十八日（金）

● お彼岸中日 三月二十一日（月・祝日）

● お彼岸明け 三月二十四日（木）



法然上人涅槃図

一月二十五日は宗祖法然上人の御命日です。各総本山では四月に忌日法要厳修されます。この法要を「御忌」と読みます。法然上人のみに許された読みかたです。

左図の「法然上人涅槃図」は、法然上人の入滅の時が描かれています。

大勢の弟子にかこまれ、合掌なされ、「南無阿弥陀仏」のお念仏を弟子と共に唱えられながら念仏往生なされました。



法然上人 涅槃図

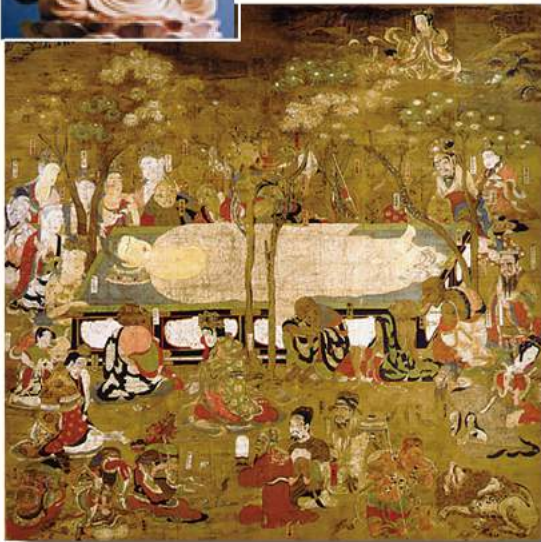
涅槃会

二月十五日は、お釈迦様の亡くなられたご命日です。左図の涅槃図は、お釈迦様の入滅のご様子が描かれています。

お釈迦様は、伝道の旅の途中、病にたおられ、自ら死期を悟られ、沐浴をされ、沙羅双樹の林の中に横たわれ、最後の説法をなされ伝道のました。頭を北に、顔を西に向け、十代弟子、老若男女、鳥獸たちさえも嘆き悲しむ様子、また、切利天より駆けつけられたお釈迦様の母君、マヤ夫人の姿も描かれています。



お釈迦様 涅槃図



法然上人が浄土宗を開かれたのは、平安時代も終わりの一一七五年。もうすぐ開宗八五〇年です（二〇二四年）。

左のイラストは、法然上人のお姿をシルエットにした八五〇年のシンボルマーク。開宗八五〇年のキャッチコピー「お念佛からはじまる幸せ」の凶案化募集し六〇一点の中から決定しました。
このキャッチコピーとシンボルマークを用いて浄土宗では様々な事業を企画しています。



法然上人
浄土宗
開宗850年
お念佛からはじまる幸せ
令和6年

御本堂内阿弥陀様、お不動様、お位牌棚等のお灯（ローソク）を毎日献じます。又、壇信徒各家の年回法要の時も同じように灯りをさし上げますが、ローソクが短くなりますと、新しい長い物に替えます。短くなつたローソクが、一年二年となりますとかなりの量になります。これらを捨てること無く集めて、カップローソクを、作りました。

ローソクを作るには、湯煎にて溶かし、カップに流し入れます。慶事、お正月、五十回忌以上の法要に用います朱ローソクも加えたりします。

御本尊様のお下りの清らかなるお灯です。新型コロナウイルス退散を願ひ玄関先で、お墓参りの方々に
お配り致しました。



御本尊様のローソクの
残りで住職が手作り
しました。
どうぞお持ち下さい。

修正会報告

令和四年度「修正会」しゆしようえは、昨年度に続き、新型コロナウイルス（オミクロン株）の影響により、住職・副住職・寺族のみにて厳修致しました。

「御札」「お守り」「絵馬」等を祈願致しました。



茶道部初稽古

茶道も大変な新型コロナウイルスの影響があります。茶事・茶会は全て中止となっています。お家元のお稽古も全て中止です。もともと茶道は、親しく密をつくることでありますが、難しくなっております。

年の初めの初釜も催すことが出来ず、初稽古というかたちをとりました。





四月八日(金)は、お釈迦様がお生まれになられた誕生日です。「灌仏会かんぶつえ」といわれています。お釈迦様の誕生をお祝いし、誕生仏に甘茶をかけお祝い致しましょう。

お彼岸より本堂前(御拝)に花見堂が出ております。どうぞお参り下さい。

(お参りいただいた方に甘茶ティーパックを差し上げています)

四月八日は

お釈迦さまの

誕生日



節分会

二月三日節分に、毎年床の間に掛けます「掛け軸」をご紹介します。この画讃は、釜師 長野埴志師がかかれたものです。

怒ろしや

かぞえも

いかぬ

まめのかづ

と讃があります。年の数だけ豆を食べるのは少々大変となりました。(笑)



ご注意ください

★お塔婆料等のお振り込みに郵便局の振込用紙をお渡ししていますが、テレビCMでもご承知の通り、うちよ銀行の送料料金の改定がございました。

送料は加入者(實性寺)負担ですが、一月十七日より現金でお振り込みいただく場合、お振込人様からも加算料金一一〇円お支払いいただくこととなりましたので、その点ご注意くださいようお願い致します。



今年も境内に紅白の梅が咲き始めました。これからの季節多くの花が咲きますのでお楽しみ下さい。

境内の花



❖ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄にお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確ですのでご利用下さい。

ファックス番号 03(3883)3227

振替口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七-十八
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jisyoji.com>



境内の雪景色